

のり養殖通報第2報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成30年10月5日発行

間もなく本格化する育苗に向けて水質観測結果を中心に構成しました。

[海況] 表層の栄養塩は回復

○ 10月3日に実施した観測の結果では、濁りによって透明度が低下した海域はあったが多くの調査点で植物プランクトンが減少し透明度が上昇した。台風24号通過によるまとまった降雨もあり表層の栄養塩は窒素、リンともに十分な量に回復した。

表層水温は概ね22℃台、塩分は部分的にやや低い地点があるが特に問題の無い値であった(表1)。

[今後の留意点] 台風、水温の経過を見極めて

○ 台風25号は5日6時現在965hPaの勢力で沖縄付近を北上し、6日以降は東寄りに進路を変え日本海を通過する可能性が高まっています(図1)。24号同様に南寄りの強風が予想されますので動向に十分注意して下さい。

○ 台風通過にともない10月7日には気温が30℃を上回る真夏日の出現が予報されています。現在育苗適水温(22℃前後)に低下している水温も上昇が予想され、ノリ芽への悪影響が懸念されます。本格的な育苗は台風通過後、水温が低下するタイミングに合わせて開始してください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
次回は10月17日頃発行します。

表1 水質観測結果(10/3)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	23.4	29.7	8.1	2.8	476	57
盤洲Cブイ	22.7	30.5	8.2	3.3	358	43
盤洲Bブイ	22.5	28.6	8.3	2.3	448	49
盤洲Aブイ	22.3	29.5	8.2	4.0	376	42
富津ベタ	21.5	27.0	8.3	2.7	543	36
2海ほ下	22.3	31.5		4.0	201	27
大貫沖	22.1	29.6		4.0	404	40

*溶存無機態窒素(μg/l)、**リン酸態リン(μg/l)

※ノリの健全な生育や高色調の保持に必要な目安=窒素110、リン8

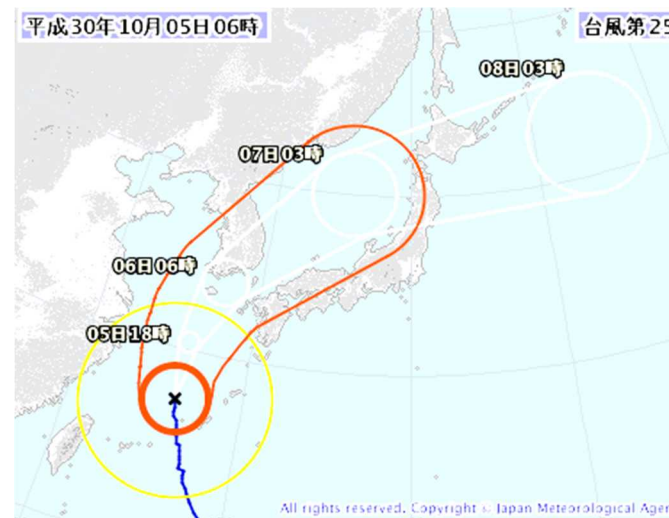


図1 10月5日6時 気象庁HP